

ほゆる

会報 5月号

平成 22 年(2010) 5 月 通算 193 号
 北総歩こう会事務局・〒277-0841
 柏市あけぼの 2-9-20 B902
 TEL : FAX 04-7145-1620
<http://www1.u-netsurf.ne.jp/~KHA>
 YASHI/hokusou/hokusoua.html



行事の案内板

☆6月平日ウオーク 文学散歩(都内) 正岡子規の句碑めぐり 12km (コースリーダー 軍地恒四郎)

日時/6月2日(水) 9時00分 団体歩行 参加費/会員 100円・CWA200円・その他 300円

集合/ JR上野駅公園口前広場(公園口改札徒歩1分)

解散/14時30分頃 田端文士村記念館(JR田端駅へ徒歩3分)

コース/上野駅公園口前広場～正岡子規記念球場～五條天神社～下谷神社～入谷鬼子母神～鷺神社～御行の松不動尊～防災広場・根岸の里(WC)～根岸小学校～元三島神社～笹乃雪～子規庵～羽二重団子～日暮里南公園(昼食・WC)～大龍寺(子規の墓)～田端文士村記念館

○みどころ/ドラマ「坂の上の雲」で改めて注目された正岡子規。台東区根岸周辺の句碑を巡り、さらに病臥しながら俳句の革新に炎を燃やした子規庵、子規の眠る大龍寺などを訪ねます。

☆6月例会 柏市北東部の自然と歴史を歩く 12km (コースリーダー 神崎 武)

日時/6月6日(日) 9時00分 団体歩行 《W日本 1800 柏市》

参加費/会員及びCWA無料・その他 300円 集合/北柏第一公園(JR常磐線北柏駅徒歩3分)

解散/14時30分頃 柏たなか駅前広場(つくばエクスプレス線柏たなか駅徒歩0分)

コース/北柏第一公園～松ヶ崎城址～マルエツ(wc)～旧吉田家住宅歴史公園(wc)～柏ビレジ近隣公園(昼食・wc)～柏ビレジ水辺公園～吉祥院～柏たなか駅

○みどころ/最近整備中の「松ヶ崎城址」と昨年11月より公開された「旧吉田家住宅歴史公園」を巡ります。

☆7月例会 夏バテ解消・ビールで乾杯 13km (コースリーダー 清水 完浩)

日時/7月18日(日) 9時00分 団体歩行 参加費/会員及びCWA無料・その他 300円

集合/守谷駅:つくばエクスプレス(TX)線or関東鉄道常総線 解散/15時30分頃同じ守谷駅

コース/守谷駅(明治神宮)～新守谷駅～立沢公園(WC)～せせらぎの小道～川の一里塚～四季の里公園(昼食・WC)～ビール工場見学～守谷駅

○みどころ/せせらぎの小道から川の一里塚、竹林など足に優しい道を歩きます。そしてビール工場へ、出来たての美味しいビールで乾杯、夏ばて解消しましょう。

おめでとう



10年2月28日会員の認定者

30000 km 柳田秀雄さん 28000 km 九嶋 仁さん

12000 km 小磯 勲さん・根本 守さん

地球一周4万キロを目指して頑張ろう♪♪

☆ 平日ウオーク 10回完歩者名 ☆

3/31(水)の平日ウオークでの10回 完歩者は9名で昼食会場の増尾城址公園で表彰されました。

稲葉清一郎さん(会員) 林 義治さん(会員)

板垣由美子さん(会員) 小磯 勲さん(会員)

伊澤 米治さん(会員) 坪田 博善さん(会員)

佐々木澄子さん(会員) 北原啓一さん(千葉)

毛塚 博夫さん

頑張りましたね おめでとう!!



ふぁみりーウオーク

「ふぁみりーウオーク」の集合時間、6月は従来どおり **9:00** です。ゴール解散は **12:00** までを目途にしております。

参加費: 会員 100 円・会員以外 200 円

☆ 6月19日(土) あやめを見に水元公園

約8km (担当: 清水完浩)

集合: JR常磐線松戸駅西口 解散: JR常磐線金町駅

ご注意 7月の集合時間は暑いので夏時間として早朝 8:30 です

☆ 7月17日(土) 帝釈天と野菊の小道

約6km (担当: 筒井寿一)

集合: 京成金町線 柴又駅 寅さん銅像前

解散: 北総線矢切駅or栗山坂下バス停留所から JR 松戸駅へ
矢切の渡し舟に乗船しますので料金 100 円ご用意下さい



3/20 我孫子市近隣センター・「ともしび」で

平成 22 年 4 月 4 日 月例会



「緑の風に吹かれて～柏の葉キャンパスから利根運河～」を担当して

コースリーダー 軍地 恒四郎

雨に降られなくてよかった！！ コースリーダーに共通する思いですが、1週間前から天気予報を日に2度3度とチェックして一喜一憂しました。今回のコースは特に天気次第で参加者の満足度が大きく変わる可能性がありますから。前日に「午前中は晴れ」を確信していましたが、当日は1日中「曇り」で晴れることはなく、集合場所の柏の葉キャンパス駅東口は北風の通り道になっていて、参加者のみなさんには寒い思いをさせていただきました。

こんぶくろ池では、こんぶくろ池の自然を守る会の人たちから、池に関して丁寧な説明をしていただき、さらに理解を深めるための仮設の展示も見て、こういった方々の活動があって初めて貴重な自然が守られていると再認識したところです。東京の桜の開花宣言は3月21日。4月4日の桜は葉桜の心配もありましたが、このところの低温が幸いして柏の葉公園の桜は見ごろの8、9分咲き。解散地点の利根運河の桜はほぼ満開、日曜日ということもあって運河の土手はたくさんの人出でしたので、やむなく少し手前での解散となりました。



柏のこんぶくろ池を行く



柏の葉公園の桜並木を行く

欲を言えば、心地よい春風の中を、満開の桜を愛で、樹林帯を森林浴を楽しみながら歩きたかったのですが、今はとにかく、「雨に降られなくてよかった！」。みなさんのご協力に感謝申し上げます。
(コース担当: 加藤洋子 中山祐子)

1. やあ！お早よう 明るい挨拶 さわやかに

平成 22 年 3 月 31 日 平日ウオーク



『カタクリの里から大津川を下る』を担当して

コースリーダー 加藤 譲治

安全を求めて歩くカタクリの里 このコースを初めて歩いた時、逆井のカタクリ群生地から大津川の上流地帯を横断して高柳のカタクリ群生地に至る道筋に、桜の木が点在して風情を添えていました。逆井運動場、藤心小学校、観音堂などの桜は見事でした。この閑静な田園地帯を是非ご案内したいと、其の時思ったものです。

当日は予想に反してまだ蕾でした。まことに残念です。しかし、カタクリはお見せ出来、期待に応えられて良かったと思います。好天気に恵まれて 204 名の参加者を得ましたが、お目当てはカタクリであったと思います。「カタクリよ、よくぞ姿を見せてくれた」と、お日様と共にカタクリに感謝したいと思います。

さて、車社会の到来に伴い砂利道は舗装され通行し易くなりました。しかし、のどかな田舎道も車の往来が激しくなり、あたかも自動車専用道路のようです。しっかりした歩道が付いていないと怖くて歩けません。この地域は車優先で歩行者には危険な道路が多いのでコース作りには苦労しました。特に神明社の前の交差点は大変危険です。それで当初の予定の五葉松(善龍寺)を諦め、迂回して手押し信号で船取線を横断しました。また、藤心地域から観音堂(福寿院)へ下る公道も危険です。それ故、砂利道の農道を通り私道を 30 メートルほど歩きましたが、無断で通る訳にはいきません。柏市役所に向いて私有地である事は分かりましたが、所有者が分かりません。3/27(土)の下見の時に私道の脇の畑で農作業をしている夫婦と話をすることができ、「通るだけなら構わない」と言われましたので、安心して通行出来ました。



柏のカタクリ群生地に行く



寿量院を参拝

清流よ甦れ大津川 大津川はかつて、策ですくえるほどタナゴが生息していたそうです。流域の開発が進むにつれて汚水が流入し、一時は洗剤などの泡が風に吹かれて水面を滑走する程になりました。その後、流域下水道の整備や河川改修工事、手賀沼の浄化等により改善されてきています。美しい田園地帯に汚水が流れているのは興醒めです。「清流よ甦れ」大津川の土手を歩きながら強く思いました。

※本行事の計画、実施にあたり柏市役所文化課の担当者や高柳カタクリ群生地の管理者からご教示を頂きました。また、逆井運動場や塚崎運動場などの施設申し込みの際、快く応じて頂きました。これらの方々感謝します。また、リーダーの指示に合わせて歩く参加者のご協力に感謝します。さらに、交通整理や相互の連絡など役員の適切な活動によりウオーキングが無事終了出来ました事、担当の二氏から貴重なアドバイスを頂いた事に御礼申し上げます。(コース担当:加藤洋子・林克彦)



早春の大津川の土手に行く

ほゆうのひろば



世界三大瀑布を踏破して(2/2)

北総歩会員 和田 武年

イグアスの滝:大西洋に注ぐラプラタ川、その支流パラナ川そのまた支流であるイグアス川にあるこの滝は滝幅 4km 落差は 80m とその規模は世界最大だ。訪れたのは 2000 年 6 月 6 日、先ずブラジル側からだ。野生のアナグマが可愛らしく迎えてくれたが滝の巨大さに圧倒された。翌日 7 日はブラジル・パラグアイ・アルゼンチン三国国境点を越えてアルゼンチン側に渡った。雨合羽にライフジャケットを着てゴムボートに乗り悪魔の喉笛に迫った。滝壺にあるサン・マルティン島にもアルゼンチン側から渡し舟で渡って下から滝の迫力を体験した。



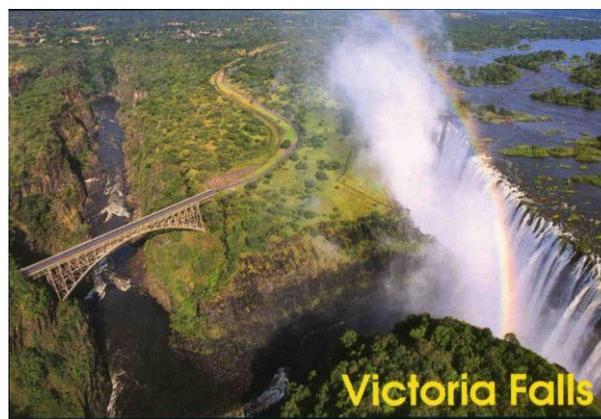
ブラジル側から見たイグアスの滝↑



カナダ滝をヘリで上空より眺める↑

ナイアガラの滝:北米五大湖の一つエリー湖から流れ出した川は落差 50m の滝を作ってやがてオンタリオ湖に注ぐ。私は 2000 年 7 月 6 日、地下トンネルの覗き窓からカナダ滝の裏側を見た。またレインボーブリッジをアメリカ側に渡って船で滝壺を周遊した。翌日 7 日はカナダ側からヘリコプターに乗って上空から滝全体を見下ろした。滝の上流からアメリカもカナダも大量に取水して発電しているのがわかった。これでは滝の水が少ない筈だ。夜間は打上げ花火大会も見たが、これが本当のナイアガラかな。

ビクトリアの滝:2006 年 10 月 17 日南アフリカのジンバブエ国側から滝を見る。対岸はザンビア国である。川幅 1700m のザンベジ川を横切るように出来た狭くて深い地球の割れ目に川水は落ちている。そんな感じの滝は落差 108m と三大瀑布中の最高位だが残念ながら滝壺に落下する豪快な様子を見ることは出来ない。見上げてこそ滝のすごさを感じられると思うのだがそのようは観光施設は一切作らないようだ。今は最も水量の少ない乾季だが、それでもナイアガラの滝ほどの水量は有った。雨季には割れ目が溢れるほど増水するらしい。自分でも随分撮影したが、近すぎてその迫力がわからないので絵葉書を紹介する。



ビクトリアの滝・絵葉書より↑

新入会員紹介

野田市の渡辺 哲郎さん
先輩会員の皆さん ヨロシク！♪

【編集後記】 日本の滝については会員の社本氏から投稿があり、以前ほゆう上に紹介したので、今度は世界の巨大な滝について書いてみた。日本の滝に比べて世界の滝はその巨大さには圧倒される。しかし、人の美意識は「大きければ良い」というものでもない。日本人の美に対する意識は古来から和歌や盆栽に見られるように凝縮されている。三十一文字に、盆栽に広大な宇宙を心の目で眺め、凝縮し表現してきた。日本の滝にはそれぞれ個々に凝縮された風情があることを社本氏が紹介してくれた。今回は巨大な西洋人的な滝について紹介したが、文化の違いがものの考え方、美意識の違いを生む事について知って頂ければ幸いである。さて、時は 5 月、屋内にいるのが勿体ない気分させられる季節になった。さあ 野や山へお弁当を持って繰り出そう！ 一歩遊人—
編集担当 和田 武年 〒270-0121 流山市西初石 6-187-43 Tel・Fax 04-7154-0170